

# 画 像 鑑 定 報 告 書

(鑑定対象患者：〇× 〇×様)

鑑定日：YYYY年MM月DD日

鑑定医師：〇● 〇●

※ 本報告書は、訴訟外手続の証拠としてご利用いただくことを目的として作成されたものであり、訴訟手続の証拠として利用することはできません。訴訟手続の証拠として利用することをご希望の場合は、法務メディカルセンターまでご連絡ください。

(TEL: 03-6261-1700、 Email: [support@homu-medical.co.jp](mailto:support@homu-medical.co.jp))

## 画像鑑定報告書

鑑定日：YYYY年MM月DD日

鑑定医師：〇● 〇●

依頼者	●●××法律事務所 弁護士 ●× ●× 先生
鑑定対象患者	〇× 〇× 様
年齢・性別	YY歳（事故当時）・男性
生年月日	YYYY年MM月DD日生

## 所見

## 1. 鑑定部位：頸椎

YYYY年MM月DD日 頸椎単純X線写真（〇〇クリニック）

- ・頸椎 C6/7 レベルで右 Luschka 関節の軽度の骨性増殖があり、右 C6/7 椎間孔は軽度狭小化しています。これについては患者の年齢相応程度の軽度の所見と考えられます。
- ・頸椎、腰椎の椎体の配列は保たれています。
- ・骨折線は指摘できません。
- ・腰椎各レベルでは明らかな脊柱管狭窄や椎間孔狭窄を指摘できません。

YYYY年MM月DD日 頸椎単純MRI（〇〇病院）

- ・頸椎 C6/7 椎間板の右側後方へのヘルニアがみられます。この所見は今回の交通事故後に生じた症状の局在とも矛盾しないため、今回の交通事故の衝撃により発生、ないし増悪した所見である可能性が相当程度あります。
- ・同じく C6/7 レベルでは、右側で Luschka 関節の骨性増殖があり、上述の椎間板の膨隆とあいまって、右 C6/7 椎間孔は軽度狭小化しており、これによる右 C7 神経根の圧排が示唆されます。
- ・Luschka 関節の骨性増殖は変性による所見としても説明可能ですが、年齢相応の軽度の所見であり、やはり今回の交通事故の衝撃により発生、ないし増悪したと考えられる椎間板ヘルニアによって、神経根圧排を増悪せしめ、神経根圧排症状が顕在化した可能性が相当程度あります。
- ・骨折線は指摘できません。
- ・脊髄への直接圧排所見はみられず、撮像範囲の脊髄髄内に異常信号は指摘できません。
- ・撮像範囲の頭蓋内に明らかな異常を指摘できません。

以上

## 診 断 名

変形性頰椎症（C6/7 レベルでの右 Luschka 関節の骨性増殖。ただし年齢相応。）  
C6/7 椎間板ヘルニア（右側後方）  
上記 2 点の要因による右 C6/7 椎間孔狭窄・右 C7 神経根圧排がみられます。

## 鑑定事項

## 1. 鑑定部位：頰椎

(1) 鑑定対象患者の検査画像に画像所見は認められるでしょうか。

所見：頰椎変性（C6/7 レベルでの右 Luschka 関節の骨性増殖）、椎間板ヘルニア（C6/7 レベル）の要素による右 C6/7 椎間孔狭小化があり、C7 神経根の圧迫が認められます。脊髄への直接圧排所見はみられません。

(2) (1) で画像所見が認められる場合、鑑定対象患者の自覚症状（頰部痛）と整合するでしょうか。

所見：(1) で記載したように C7 神経根への圧迫が認められることから、本件鑑定対象患者の自覚症状（頰部痛）が引き起こされることに矛盾はありません。

(3) (1) で画像所見が認められる場合、その画像所見は外傷によるものといえるでしょうか。

所見：右 Luschka 関節の骨性増殖がありますが、この所見は年齢相応の軽度の所見であり、これのみで、神経根の圧排をきたすことは考えにくいです。今回の交通事故の衝撃で、右 C6/7 レベルでの椎間板ヘルニアが発生、ないし増悪し、神経根圧排が生じ、症状が顕在化した可能性が相当程度あります。

以上

参考画像 1

※鑑定画像をこちらに添付  <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100px; height: 100px; margin: 20px auto;">                     画像                 </div>	検査日	YYYY年MM月DD日
	検査種類	頸椎単純X線写真
	コメント	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>頸椎の変性（特に右 Luschka 関節の骨性増殖）による右 C6/7 椎間孔の狭小化を認めます。</li> </ul>	

参考画像 2

※鑑定画像をこちらに添付  <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100px; height: 100px; margin: 20px auto;">                     画像                 </div>	検査日	YYYY年MM月DD日
	検査種類	頸椎単純MRI
	コメント	
	T2 強調像矢状断像 <ul style="list-style-type: none"> <li>C6/7 椎間板ヘルニアの右後方へのヘルニアがみられます</li> </ul>	

鑑定医師略歴

1 氏名

〇● 〇●

2 経歴

YYYY年 ●●大学医学部卒業

YYYY年 ●●大学医学部附属病院 放射線科

YYYY年 〇×病院 放射線科

YYYY年 〇△総合病院 放射線科

3 資格等

日本医学放射線学会認定 放射線科 専門医

日本医学放射線学会認定 放射線診断 専門医

日本医学放射線学会認定 研修指導者